

声楽家（ソプラノ）
又吉 優香
Yuka Matayoshi



兵庫県三木市出身。三木市立緑が丘小学校・中学校・兵庫県立三木北高校卒業。相愛大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。卒業年に、「フィガロの結婚」の伯爵夫人を演じたことをきっかけに、オペラの世界に魅せられ、卒業後、本格的に活動を開始。

オペラでは「フィガロの結婚」「コシファントゥッテ」「愛の妙薬」「あまんじゃくとうりこひめ」「メリーウィドー」「修道女アンジェリカ」「蝶々夫人」「魔笛」「ヘンゼルとグレーテル」「こうもり」「ベルリンの月」「子供と呪文」他多数の作品に出演。ケルビーノ役で出演した、関西歌劇団公演「フィガロの結婚」の舞台が、平成22年度大阪文化祭奨励賞を、従妹役で出演した、ニューオペラシアター神戸公演「蝶々夫人」の舞台が、第8回佐川吉男音楽賞を受賞。オペラ公演の他にも、合唱団ソリスト、学校公演等、関西を中心に各地で演奏活動をする。米田哲二、重松みか、橋本俊詔の各氏に師事。

2009年2月、初めての渡伊。フィレンツェでモニカ・ベンヴェヌーティ氏の指導を享受する。2012年8月より、ミラノに留学。サウリスでのマスタークラスに参加。ミラノ、ポルデノーネ、サウリス等各地でコンサートに出演。ミラノ在住メゾソプラノの鈴木幸江氏に師事しつつ、コレペティトールであるアレサンドロ・フォルトゥーナ氏、そして、指揮者であるアレッサンドロ・フェッラーリ氏の指導も享受し、声楽家としての研鑽を積んでいる。関西歌劇団正団員。三木市音楽家協会会員。